


戸川ダム (とがわだむ)

<p>位置図</p> 	<p>諸元</p> <table><tr><td>貯水量</td><td>205.6 千m³</td></tr><tr><td>満水面積</td><td>3.6 ha</td></tr><tr><td>堤高</td><td>19.6 m</td></tr><tr><td>堤長</td><td>177 m</td></tr></table>	貯水量	205.6 千m ³	満水面積	3.6 ha	堤高	19.6 m	堤長	177 m
貯水量	205.6 千m ³								
満水面積	3.6 ha								
堤高	19.6 m								
堤長	177 m								

戸川ダムは、2級河川財田川の支流・谷道川を約1.5キロメートル上流に上った国道32号線の西側にあります。財田川は仲多度郡まんのう町塩入に端を発して三豊市財田町・山本町・豊中町、観音寺市を経て瀬戸内海に注ぐ県下有数の河川で、古来より流域住民の生活や産業の恵みの水として利用されてきました。しかし、洪水による災害も多く発生していたことから、豪雨による甚大な災害を未然に防ぐため、昭和25年(1950年)から財田川防災ダム事業として、野口ダムや多治川ダムとともに築造されたのが戸川ダムです。築造後約40年を経過し、施設の老朽化が見られたため、平成6年～平成10年(1994年～1998年)にかけて県営地域ぐるみため池再編総合整備事業「財田地区」により、底樋と堤体のグラウト工事や斜樋管の改修を行うとともに、天然石を使用した親水護岸や親水階段などを整備しました。

湖畔にはさぬき百景のひとつに数えられる「戸川ダム公園」が広がり、道の駅「たからだの里」や温泉施設「環の湯」などの施設が集まっています。桜の景勝地としても知られており、毎年4月には瀬戸大橋を提唱した三豊市財田町出身の大久保謙之丞翁を偲ぶ「謙之丞祭り」が開催されるなど、レジャーや景勝に市内外から大勢の人が訪れます。



戸川ダム



大久保謙之丞翁